

清流劇場が、古代ギリシア悲劇『メディア』を上演（10月20日、大阪市の一心寺シアター併楽で所見、エウリピデス原作、田中孝弥構成・演出）。同劇団は、ドイツ、スイス、ギリシアなど、翻訳戯曲に現代的テーマを見出し、意欲的に取り組む。毎回ドラマトックには第一人者の学者を招き、新訳で臨む。今回は、丹下和彦。聞き取りやすく、品格のある台詞。

イオルコスの王子イアンソンのために故郷を捨てたメディア。彼と結婚後、イアンソンは出世欲から彼女を捨て、コリントスの王女と結婚。メディアは夫が最も苦しむ復讐方法を考える。

装置をモダンなダイニングキッチンとし、現代にも通じる凄惨な家族殺しの物語として演出。冒頭はメディア（林英世）がこわばつた表情で黙々と家事を行う姿を描写。夫に出て行かれた妻の届託。やがてイアンソン（西田政彦）が登場、何食わぬ顔で冷蔵庫から缶ビールを取り出す。調子のいい浮気夫のようだ。そして出国を促し、金は出すと言う。辺境の地出身の彼女を都会に誘つたことを、恩着せがましく語り、差別意識も漂う。メディアの怒りは頂点に達し、世継ぎを生むはずの新妻を殺し、さらに自分達の子も殺すことで彼の血族の根絶やしを図る。

九鬼葉子

11月の
関西

情念の残酷さ

兵庫県立ピッコロ劇団【小さなエイヨルフ】
清流劇場【メディア】
京都西陣創造集団アノニム【神聖な焰】
劇団太陽族【トリビュート】
東退屈道場【808ダイエット】

林英世は、前半は冷静さと聰明さを強調。次第に恨みと差別への反発から、怒りが増幅する様を緻密に描写。復讐心が一時の狂気ではなく、罪を十分理解しつつも、知性をテューモス（情念）が凌駕する残酷さを活写した。（情

テアトロ

1
2019

女優一代 岩崎加根子 川口啓史

特集 夢の劇場へ

由起圭／江久里ばん／神品正子／跡見梵／森康次

エッセイ／SENDAI座 渡部ギュウ
リポート＝ロシア 安達紀子／イギリス みなもとごろう
◎連載② 共創する空間へ② 西堂行人
◎新連載④ 台湾編 流山児祥

今月選んだベストスリー 294 渡辺 保

第32回テアトロ新人戯曲賞募集

◆戯曲◆

THE DARK CITY

シライケイタ

